

Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号 **継続 9**

会社名・団体名等 **港製器工業株式会社**

受賞年度 平成 26 年度

取組等の名称	間伐材活用によるブロック塀代替工法【スーパーフェンス】	
活動の種類	<input type="radio"/>	間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）
		間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
		環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
受賞の内容 (概略)	<p>当社は、大阪北部地震以前より、危険なブロック塀の代替塀として、間伐材を利用した塀を林野庁・各大学の協力を得て開発してきた。住宅街のプライバシー確保は、今まではブロック塀やアルミ材であったが、最近では木の塀で視線を遮る需要が増えてきている。林業関係者は、木塀を施工するにあたり、柱も板材も木材を利用することが多いようである。しかし、当社では、①耐風や耐震の力を得るためには、柱自身の耐力を付けなければならないこと。②土と接する、いわゆる地際で、柱の根元から腐食が始まり耐久性に欠けることの原因により、木製は使わずに、独自の防錆処理をしたアルミの柱を採用している。又、間伐材の板の厚さは、25 mm を標準としている。この厚みは、コンクリートブロックの 150 mm よりも少ない寸法なので、狭小地である日本においては、土地の有効利用が、可能となっている日本においては、最適な施工法を提供できる。木材が火や熱にも強いことも実証した。</p>	
受賞後の展開 (受賞から現在まで)	<p>開発当初は、耐風速 34m/s であったが、最近の異常気象等による風の被害件数の増加により、風速 42M/s に対応できる様に、強度を UP した。地消域地産を試み、日本各地で、その地域材を使用した。HP/YouTube 等ネット上で宣伝や、大学、ホームセンター（以後 HC）で宣伝・講義勉強会開く。</p>	
今後の展開 (現在から未来へ)	<p>お客様が、より、価格の面でお求め易くなる為に、お客様が直接木材をお買い求め、DIY で、面材を施工するという実例をより多く作っていきたい。日本最大 HC のカインズ社にも協力をいただいている。当社が施工困難な柱だけ設置して、お客様自身で、面材設置施工する施工法である。別添資料のように 30 分加熱しても、手で触れられるという事が、従来の実例や弊社実験等において実証されているものの、市民の木に対する火への安心感が少ない。現在、東洋大学松永准教授と、文部科学省へ、研究開発費を申請中である。今回、火に対する追加試験を行い、国からの耐火の許可を貰おうと計画中である。スーパーフェンス（以後 SF）は、安全通路になりえるという事を証明したい。又、実現したい。</p>	
取組の実績	<p>地産地消をしたいという方は、意外に多く全体契約の 15%にも及ぶ。大阪北部地震で注目された危険なブロック塀の代替塀としての認識も徐々に広まってきたせいか、見積案件も直近 3 年間 33 件→37 件→45 件と伸びてきている。問合わせだけなら、大阪北部地震の前年度比、2 倍以上あった。SF の認知度を上げる為、大学や HC（お客様窓口担当者向け）の勉強会、講習会等を年 2 回は行っている。</p>	
その他	<p>SF は最大塀の高さ 3M であるが、ヒアリングにて需要の高かった 1M 前後の簡易化した商品を開発した。値段も安く、木材も手に入り易い事から、お客様から高評価を得る。ACQ 加工製品においてカビが発生した現場があった。独自に、カビが発生する状態を検査・実証中。又、大学で、安心安全という授業材料となっている・CW 第 2 種登録木材関連事業登録取得・間伐材マーク使用認定書取得</p>	
取組、製品等の写真、図表等	<p>東北復興支援事業 応援 関西大学での SF で安心安全の講義 上記 YouTube・SF の QR コード</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
連絡先等 (公表可能な範囲でご記入下さい)	<p>(住所) 〒569-8588 大阪府高槻市唐崎中 3-20-7 (担当部署等) 営業部 営業開発課 (電話番号等) TEL:072-678-5235 FAX:072-678-523 (URL) http://www.minatoseiki.co.jp</p>	